

Sky High

2019/10/31

人の立場を考えることができる優しさを

台風19号による被害に遭われた皆様に心よりお悔やみ申し上げます。

今年は強烈な台風が日本列島を通り抜けていきました。特に千葉県などを襲った15号、そして、長野県、関東地方、福島県、宮城県などで河川の堤防が決壊して大規模な浸水をもたらした19号は、これまでの台風の常識を覆すほどの大きな爪痕を残しました。

大きな台風が来ると、誰もがテレビやラジオ、インターネットの台風情報を注意して見聞きます。そのテレビなどの台風情報を見て、自分の住んでいるところから離れたところに上陸したり、外れて通過することを聞いたりすると、「ああ、これで安心」と思います。

自分の住む地方を直撃しなかったことは良いことですが、台風が襲ってくる地方は大変なことが起こっているのです。そのことを考えると、「私たちが、ああ、これで良かった。」と思うことは、裏を返せば、自分たちに降りかかってくるはずだった災難を、他の人たちが受けてくれていることを意味しています。

私たちの住む場所が被害を受けなかったことに関して安心するとともに、これから被害を受けるであろう人たちの無事を祈り、^{けいけん}敬虔な気持ちを持っていなければならないと思います。

私たちは「『目に見えない思い』が自然に言葉や行動に現れてくるような人間」にお互いになりたいものだと思います。

修学旅行まであと2週間余り

11月20日(水)から25日(月)まで、アメリカへの修学旅行が行われます。海外旅行が初めてという人も多く、不安を感じている人もいると思います。しかし、これまで本校を卒業していった先輩方のほとんどは、「修学旅行に行って良かった」「高校生活の最大の思い出は修学旅行だ」と言っています。思い出深い旅行にするために、ここで、重要な項目のみをおさらいしてみましょう。

① 引率の先生、添乗員の方、現地ガイドの方の話をきちんと聞くこと。

みなさんが安全に楽しく旅行することができるように、引率の先生、添乗員の方、ガイドさんがいろいろなお話をします。日本にいる感覚で、多少のことは許してくれると勝手に判断してしまい、大切な話を聞き漏らすことのないようにしてください。きちんとルールとマナーを守って旅行すればとても楽しい旅行になるはずですが、一歩間違えると事件の被害者になったり、命に関わるような危険な目に遭ったりします。特に、空港など、説明の声が通りにくい場所では無駄話を一切止めて話をしている人のほうをきちんと見て聞き取るようにしましょう。常に、みなさんのためにさまざまな指導や説明をしてくれる先生、添乗員の方、ガイドさん、バスの運転手さんなどに感謝しながら接しましょう。

② ホテルから絶対に外出しないこと。

ホテルの外は治安の良い日本とは別のアメリカです。アメリカは銃社会で一般の人も銃を所持している人もいます。かつて、アメリカでは銃で撃たれた日本人がいて、ニュースになっています。6年前の11月2日には、みなさんが降り立つロサンゼルス国際空港で銃撃事件が起きています。

③ パスポートは命の次に大切です！

パスポートがなければ出国も入国もできず、飛行機にも搭乗できません。万が一、紛失すると、その人だけ移動できなくなります。時差ぼけや疲れから、普段慎重な人でもうっかりパスポートをどこかに置き忘れることがあります。バス、飛行機のシートや物入れ、トイレに置き忘れ、空港の手荷物検査場での忘れ物、ポケットから落とすなど、青ざめた先輩もいました。素早く気づいた先生、添乗員さん、友人などに助けられて事なきを得ました。常に班員どうし声を掛け合って確認するようにしましょう。

④ 毎晩、睡眠をきちんととること。

日本とアメリカ西海岸とは時差が17時間あります。往路の飛行機内と、ホテルでの晩は、きちんと睡眠をとりましょう。そのためには日中はバスの中では寝ないで、外に出たときに光を浴びて活動しましょう。昼夜が逆転したままになると時差ぼけが続き、体調を崩す原因にもなります。

⑤ 体調が悪いときには早めの処置が肝心。

「風邪気味かな」と感じたら、暖かくして睡眠をきちんととるようにしましょう。また、各自、風邪薬、胃腸薬、酔い止め、生理薬品(用品)を持参していき、早めに服用するようにしましょう。一般に、アメリカの薬は日本のものより強いと言われていています。自分に合った薬をスーツケースに入れておきましょう。また、「病も気から」という言葉のとおり、気持ちの持ちようでも元気になる場合もあります。いずれにしても体調が思わしくないときには早めに引率の先生に申し出るようにしましょう。

⑥ 盗難・引ったくりに注意！

羽田空港の国際線ロビーに到着したら海外だという感覚で、自分の持ち物全てに細心の注意を払ってください。盗まれた物は戻ってきません。また、忘れた物は戻って取ってくることはできません。連泊するから大丈夫だろうと、ホテルの部屋に私物を乱雑にしておくと、ごみと勘違いされてルームメーキングに捨てられたり盗まれたりすることがあります。日本の常識は一切通用しません。

⑦ 性犯罪に注意！

日本でも被害者にならないように注意していますが、アメリカでは日本以上に注意が必要です。危険な場所には近寄らない、おかしい声かけに応じない、女子は短いスカートを極力避けることが大切です。ユニバーサルスタジオで遊具に乗るときなど、スカートが適さない場合があるので、TPOを考えて服装選びをしてください。なお、男子も日本以上に性犯罪や声かけの被害には注意が必要です。

⑧ 法に触れる行為、疑われる行為は絶対にしないこと。

万が一、法を犯す行為をしたり、たばこやお酒、アダルト雑誌を購入したりすると逮捕されることがあります。日本のように補導では済まないの、絶対にこのようなことのないようにしてください。

まだまだ大切なことはたくさんありますが、特に重要なものだけを挙げました。出発前にもう一度『修学旅行のしおり』を読み返して、安心して楽しい旅行ができるように心がけてください。



校内書き取り大会で2年6組が優勝！

10月24日（木）6校時、文理進学コース、特別進学コースでは全学年共通の問題に取り組む、校内書き取り大会が行われました。クラスごとの平均点で順位が出されます。2年生の中には、100点を狙って練習問題を何回も繰り返し解いたり、ノートにたくさん練習したりする生徒が多く見られました。

結果は、2年6組が第1位、2年5組が第4位となりました。学年別平均点では2年生が最も高い結果になりました。その中でも、90点以上を取った2年生の成績優秀者をここで発表します。

君（98点・校内1位）、さん（96点）、***君（90点）

90点以上の成績優秀者は校内で6名ですので、2年6組の生徒がその半数を占めました。なお、今回の書き取り大会の問題は、入試や模擬試験に頻出する漢字ばかりです。分からなかったり間違えたりした漢字は、徹底的に練習して覚えてしまいましょう。

直前の体調管理に注意！

修学旅行直前となり、準備も万全のことと思います。一方、体調管理はきちんとできているでしょうか？ 風邪を引いて旅行中に苦痛の状態となったり、インフルエンザなどにかかってしまい、当日、参加できなくなってしまったりということのないように、十分に注意して過ごすようにしましょう。旅行2週間前になったら心がけてほしいことを挙げておきます。少し神経質すぎるかもしれませんが、福島県では今年は既にインフルエンザが流行期に入っています。

① 手指消毒剤を携行しましょう。

学校に登校したとき、食事前、トイレから出たとき、清掃終了後、帰宅時、外出時に消毒しましょう。

② うがい、手洗い（指、爪なども）を徹底しましょう。

③ 不要な外出や人混みの中へ行くことはできるだけ避けましょう。

④ くしゃみや咳をするときには「咳エチケット」を守りましょう。

インフルエンザなどの病気は飛沫感染によって移ると言われています。マスクやハンカチ、衣服の腕の部分などを使って、唾液を飛ばさないように工夫しましょう。教室のごみの分別は各自がきちんと行い、清掃当番の人に迷惑をかけないようにしましょう。

⑤ 回し飲みや、他人が口をつけた物を口にしないようにしましょう。

唾液によって感染することが多いので、普段何気なく行っていることにも注意しましょう。

⑥ 十分な睡眠と栄養を！

体が弱っていたり、疲れたりすると、病気に感染しやすかったり、症状が出たりするものです。体調管理の原点は、睡眠と栄養です。1日7時間の睡眠と、バランスのとれた栄養を心がけ、体力もつけて病気を寄せ付けない体を作りましょう。水分もきちんと摂取しましょう。

⑦ 少しでも体調が悪く感じたら、すぐに医療機関受診を！

早めの処置が有効です。特に、旅行直前は迷わず、医療機関を受診するようにしましょう。福島県の高校生は医療費がかからない場合が多いので、躊躇せずに診察してもらって早めに薬を服用して治しましょう。

⑧ できるだけ11月上旬にインフルエンザの予防接種を受けましょう。

予防接種を受けてもインフルエンザにかからないわけではありませんが、重症化を避けるという意味で有効です。予防接種を受けて体に抗体ができるまで約2週間を要するとのことなので、11月上旬までに予防接種を

受けておいた方がよいでしょう。ただし、持病を抱えている場合には、医師と相談の上、接種するかどうか決めてください。

11月28日は受験生としての元旦

皆さんは、今、修学旅行のことで頭がいっぱいのことと思います。それはそれで良いことなのですが、修学旅行から帰ってきたら、頭を完全に切り替えていかなければなりません。

旅行後の代休を終えて、11月28日（木）から通常の学校生活が再会します。その約10日後には、後期中間考査が始まります。代休中に、体調をしっかりと整え、疲労を完全に回復させ、時差ぼけもリセットして、元気よく登校できるようにしましょう。

そして、もう一つ。この再開の日は、2年生にとって、元旦を意味する日であることも頭に入れておきましょう。推薦入試を考えている人にとっては受験まであと11か月、一般入試を考えている人にとっては、あと14か月後には入試の時期を迎えます。周囲の受験生は寝る間も惜しんで本格的な受験勉強に突入する時期です。推薦入試を考えている人にとっても、実力や実績などがなければ推薦もされず、合格もできません。この日を境に、自分を大きく変えていかなければなりません。

本校では、今までも多くの先輩たちがこの日を境に変わっていきました。一人二人と変わる人が出てくると、クラスの中で変化が見られてきます。クラス全体の雰囲気は「受験モード」に切り替わります。そうなれば最高です。学習しようという意欲にあふれている集団では、クラス全体で自分たちの学力を上げていくことができるようになります。そのようなクラスは、来年度、3年生になって合格率が上がるのです。

さあ、君も心機一転、自分を「フルモデル・チェンジ」して、クラス全体で合格への体制作りをしていこうではありませんか。

担任・副担任リレー・エッセイ

毎月、担任・副担任が担当するコーナーです。

本多コラム vol.4～誰かに支えられて生きている～

本多 康朗

高校2年生の10月と言えば、私にとっては修学旅行の時期です。皆さんももうじき、修学旅行がありますね。初めての海外に心躍らせている方もいるのではないのでしょうか。実は、同時に高校2年生の10月と言えば思い出すことがもう一つあります。当時の担任の先生に「当たり前を当たり前と思ふな。」という話を授業内でされたことです。まさに、皆さんが今過ごしているこの時期です。

突然ですが、皆さんに質問です。 家族に感謝できていますか？

正直、私は高校生の頃は感謝できていなかったと思います。偉そうなこと言えないですね.....。

皆さんの中で私の家族のことについて知っている方も多くいらっしゃるかと思います。私の家庭は裕福では決してありませんでした。父は身体障がい者、母は介護の仕事で夜勤が多く、兄二人も大学や専門学校に通い、生活は厳しいものでした。しかし、そんな家庭状況でも、父は私のバスケを応援してくれたり、バスケットシューズが壊れたら、母はすぐにバスケットシューズを買ってくれたり、兄二人には勉強を教えてもらったりと、いろいろな面でサポートしてもらっていました。そんな状況を当たり前に思っていました。 「当たり前を当たり前と思ふな。」という話を授業内でされ、ありがたいことなのだと気がきました。

先日、プロ野球のドラフト会議がありました。ドラフト1位で競合になった選手には、甲子園を沸かせた選手や、甲子園に出られなくても日本代表に入り、活躍した選手が顔を連ねました。皆さんは見たり聞いたりしていましたか？

実はその日の夜に、ドラフトに関連したテレビ番組がありました。ご覧になった方もいるかもしれません。この番組でキーワードとなるのは「家族」です。家族への感謝の気持ちを伝えたり、自分だけが好きなことをして兄や姉に迷惑をかけてしまったり、金銭的な余裕がない家庭なのに野球を続けたりなど、様々な境遇の中で様々な支援を受けて、これに感謝し、努力して結果を出している姿にとても心を打たれました。もちろん結果が出ないこともありますが、それでも境遇に負けず、努力したという経験は素晴らしいものだと思います。

皆さんも誰かにサポートされているはずですよ。もしかすると誰かをサポートしている人もいるかもしれません。そのサポートを大切に、感謝して、当たり前ではない毎日を通り過ぎてほしいと思う今日この頃です。
(2学年副担任・理科教諭)

1 1月の予定

1 (金)	進研模試 (放課後・地歴・公民)	※初の5教科型模試
2 (土)	進研模試 (国語・英語・数学・理科)	※午前8時10分まで登校すること。昼食持参。
3 (日)	文化の日・英検二次試験 (該当者)	
4 (月)	振替休日	
7 (木)	芸術鑑賞会 (演劇『チャージ』・とうほう・みんなの文化センター大ホールにて)	※特活時数に含まれるので、欠席・遅刻・早退しないように注意してください。 ※授業3校時、昼食の後、クラスごとに移動。5～7校時に鑑賞します。 ※鑑賞希望の保護者の方は13時までに文化センターの保護者受付へおいください。(駐車場有)
9 (土)	サタスタ (理科・社会)	
11 (月)	第1回小論文模擬試験 (3校時)	
	校内献血	※献血可能な人は献血しましょう!
14 (木)	修学旅行結団式 (6校時・体育館にて)	※6校時以外は通常授業
17 (日)	学法福島高校オープンスクール② (中学3年生とその保護者対象)	※指示された生徒のみ登校
18 (月)	進学講演会出欠確認票提出期限	※欠席の場合も提出となります。
19 (火)	修学旅行事前指導 (集会・LHR)	2校時で終了 ※11:35 2年生完全下校
20 (水)～ 25 (月)	修学旅行	※出発日は集合時刻5分前集合。(午前10時・福島駅西口集合) 集合時刻=整理時刻 前日と当日の朝、持ち物の確認を! 服装にも注意! お弁当は捨てられる容器で!
26 (火)・ 27 (水)	修学旅行代休	※後期中間考査の勉強をしましょう!
12/ 5 (木)	2学年進学講演会 (13:30～15:00・432教室)	2年5・6組の生徒と保護者対象
12/ 7 (土)	テスト前学校開放	
12/ 9 (月) ～12 (木)	後期中間考査	※評定や順位を上げられるように全力で取り組みましょう!

保護者の皆様へ

◇修学旅行出発時のお願い

当日の朝、お子さんの体調を確認してください。万が一、突然の病気や大けが、法定伝染病(インフルエンザなど)に感染した場合には、修学旅行への参加を見送っていただくことにもなります。修学旅行保護者説明会の際に業者からお話があったとおり、旅行1か月前以降の不参加にはキャンセル料が発生しております。特に旅行直前は取消料率が100%となります。しかし、このような場合には、お子さんの体調、また周囲への影響も考慮いただき、ご決断いただきたいと思っております。旅行前日の11月19日(火)以降、不参加のご決断をされた場合には、必ず保護者の方が、集合時間前に福島駅西口までおいいただき、直接、担任と団長にその旨、おっしゃってください。最終決断は保護者の方によるもので、不参加の連絡は直接、団長に対して行われるべきものと考えております。前日以降の、学校、担任への電話による不参加届は一切受け付けませんので、よろしくお願いたします。

また、当日、家を出る際、忘れ物がないか(特に、常備薬、機内持ち込み医薬品の英文説明書、時計、『修学旅行のしおり』、筆記用具、アメリカドル、当日昼のお弁当など)、お声かけをお願いします。医薬品については各自持参となりますので、体調が良好の場合でも、風邪薬、胃腸薬、生理薬品をスーツケース(機内持ち込みバッグ)に入れて持たせてください。(アメリカの薬は日本人に合わないことがたびたびあります。)また、ぜんそくなどを抱えている場合、症状が出ていなくても医師から出ている薬や吸入器を持たせるようにお願いします。各家庭からお預かりしているパスポートは、旅行当日、空港までのバスの中で担任から各自に配付されます。

さらに、当日の服装についても、集合場所での出発式に参加できる服装か、出入国に適した服装(襟付きシャツが望ましい。初日と最終日、レストランでの夕食時は、パーカーやハーフパンツなどは不適)か、再度、保護者の方の責任のもと、ご確認ください。

◇修学旅行中の緊急連絡

※アメリカに直接電話せず、下記の電話へお願いたします。
平日 7時～19時 学法福島高校へ 024(534)3480
夜間・土・日・祝日 佐藤教頭の携帯電話へ (電話番号は『修学旅行保護者説明会資料』に記載)
※学校からの緊急の連絡は、先般ご登録いただいた緊急メールにてお知らせいたします。

◇修学旅行帰着日のお願い

11月25日(月)21時30分ごろ、福島駅西口に到着する予定です。夜も遅い時間帯であり、高校生は補導される時間帯ともなりますので、必ず保護者の方(ご家族の方)のお迎えをお願いいたします。帰着日時や場所を間違えてしまうと、お子さんにかわいそうな思いをさせていただきますので、ご注意ください。ただし、飛行機のフライトはさまざまな用件によって大きく変わり、日本国内移動時は、渋滞や突発的なトラブルによって帰着時刻が変わることもありますのでご了承ください。お子さんと連絡を取り合うよう、約束をしておいてください。

いよいよ修学旅行が目の前まで迫ってきました。修学旅行に際し、煩雑な書類作成やお子さんの準備にご協力いただき、誠にありがとうございました。お子さんにとって実り多い、思い出深い修学旅行になるように、修学旅行を行ってまいりたいと考えております。今後とも無事旅行が終わるようにご協力くださいますよう、お願いたします。



▲後期始業式で心機一転、新たな抱負を胸に抱く

